

龍王山の被害について

総合的な学習の時間

防災倉庫について



5年生では、総合的な学習の時間で、「安心・安全なまちづくり」について学習しています。

もし、自分たちの住んでいる龍王地域で災害が起きた時「安全なのか」、「安全ではないのか」について考えました。それぞれのクラスで意見はわれましたが、もしもの時の備えは必要であるとの意見は一致しました。

そこで、11月8日(月)、実際に数年前にあった龍王山の被害については一般財団法人東光会理事長の高藤さんに、龍王地域の備えの一つである防災倉庫については地域学校協働活動推進員の奈須さんに教えていただきました。

また、11月11日(木)には、社会福祉協議会の景山さんから避難所とは何かについてのお話や避難所で実際に使われる段ボールベットの組み立てなどを通して、避難所運営の大変さの一端を体験させていただきました。今後は、避難所運営ゲーム(HUG)の学習をする予定です。

段ボールベットができるまで

